

別添2

日本精器株式会社



事業概要	自動空気圧機器製造
所在地	大阪府八尾市八尾木北二丁目8番地
電話番号	072-923-0481(代表)
URL	https://www.nihonseiki.com
代表者名	平井研三
設立	1955年4月25日
資本金	100百万円
従業員数	102名
売上高	135百万円(令和3年3月期)

(1)経営理念又は代表者メッセージ

経営理念

全従業員の「経済的な安定」と「心の豊かさ」を追求すると同時に、社会の進歩発展に必要とされ続ける会社を目指します。

品質方針

日本精器は、経営理念に基づいた「もの作り企業」として、「誠意」と「スピード」を追求し、お客様から「信頼され続ける品質」を目指すことを品質基本理念とします。



(2)技術・製品(事業)の特長

①技術(事業)内容

当社は、1955年(昭和30年)に空気圧機器の専門メーカーとして誕生し、これまで積極的に顧客のニーズに応え、世の中に無い新しい商品を開発し続けてきました。現在ではエアシリンダ等の「制御機器・駆動機器」、圧縮空気除湿装置等の「エアクリーニング機器」、さらには自社独自の「空気圧応用機器」の3つの商品群を柱に事業を展開しています。

②技術の用途と機能

「制御機器・駆動機器」は、エアコンプレッサーで作られた圧縮空気の流れを切り替える方向制御弁と、切り替えられた圧縮空気を供給することで力強い直線又は回転運動を発生させるエアシリンダがあり、工場の省力化装置、自動化にはかかせない製品です。又、バスや電車のドアの開閉にも使用されています。圧縮空気の圧力を調整する減圧弁も「制御機器・駆動機器」の商品群の一つであり、エアーツールの手元で圧力を調整する「手元減圧弁」は、近畿地方発明表彰「近畿経済産業局長賞」や発明大賞「功労賞」を受賞しました。「エアクリーニング機器」は、エアドライヤで圧縮空気中の水分を除去し、さらにエアフィルタでゴミや油分を除去して「きれいな空気」を作ります。空気圧機器中のゴミ、水分が原因でおこる誤動作を防止するための機器類です。エアコンプレッサーを使用する工場や自動車整備工場、歯医者さん等で使用されています。高圧用のエアドライヤはペットボトル成型に使用されています。「空気圧応用機器」は、圧縮空気中の酸素分子を除去して窒素ガスを作る「窒素ガス発生装置」と、ボルテックスの原理を利用して、圧縮空気を供給するだけで入気温度より-60℃冷たい冷風を発生させる「ジェットクーラ」、ヒーターにより圧縮空気を過熱して800℃の熱風を噴出する「スーパージェットヒート」等の機器があります。「窒素ガス発生装置」は、食品の酸化を防ぐために、食品工場に多く使用されています。「ジェットクーラ」は、成型部品の急速冷却、制御盤内部の冷却、金型冷却等、様々なスポット冷却に使用されています。「スーパージェットヒート」は、製品の乾燥、ハンダ、部品の加熱等、様々なスポット加熱に使用されています。



③特徴・強み

当社製品は、その高い性能、信頼性から、多数のOEM商品を製造するほか、常にものづくりを大切にする開発型企业として、知的財産経営に対しても積極的に全社的に取り組みを進めています。また海外メーカーとの強固な協力体制を構築する一方で、製品部材の大半を近隣協力企業から多く調達し、地元の中小企業の活性化にも貢献する企業として活躍していると自負しております。顧客のニーズに応じたモノづくりの追求とともに、コア技術を応用したナンバーワン製品の開発にも積極的に取り組んでいます。